

中田かわら版 4月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

～バザーから命を救うキャップ集め～

中田連合自治会「女性部」(部長 加藤道子さん)

25 年度の中田連合自治会の各町内より 1 名選出、会長 1 名、副会長 2 名の計 30 名（3 町内会は不参加）で行われました。会長の加藤さんは、泉区女性団体協議会の会長も兼ねています。中田地区を 4 ブロックに分け、会長 1 名 副会長 2 名 会計 1 名の 4 名が中心になり、連合の行事にかかわっています。

<文化祭>

多目的ホールで行われるバザー用品は、各自治会町内会が 4 日間かけ収集・整理し値札をつけ販売まで女性部の手で行います。このバザーは大人気で整理券を出して入場制限するほどです。

<新春健康マラソン大会>

2 日間かけて、豚汁を作り喜ばれています。

<エコキャップの回収>

平成 20 年 7 月からはじめられました。各自治会町内会より集められたキャップは、連合の定例会の後に選別をします。（収集されたキャップは定められた物しか出荷出来ません）洗って干してきれいにしてから持って行っていただきます。キャップ 400 個で 10 円です。ポリオワクチンは 1 人 20 円、キャップ 800 個で 1 人の子どもの命が救えるのです。



新春健康マラソン大会での豚汁作り

昨年度は 1 回に 700（450 の袋で 15 袋） 夏には、1200～2500 が集められました。平成 20 年～25 年で、トータル 53 名の生命が救われました。平成 24 年 11 月 13 日には特定非営利活動法人 Re ライフスタイル藤枝慎治理事長より、中田連合自治会女性部に感謝状をいただきました。これからも御協力下さい。

立場地区センターのセンター祭りには、バザーで参加。中田コミュニティでは、おひな様を飾り、バザーで参加。学習会では災害時のきずな、ボランティアの話、伝統芸能、中田囃子、いずみ歌舞伎等の講演で教養を高めています。



熱心な学習会の様子

加藤会長のモットーは、和をもって、楽しく、自らは積極的に動いて行く事を心がけている。

研修会には全員が参加してくれて、とてもうれしいと笑顔で話していました。近年若い人の参加が多くなって来て、今後の発展と将来が明るく希望の持てる会になる様にと話していました。

(編集委員 木下良江)

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

5月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【平成 26 年度 町ぐるみ健康づくり活動の会員募集】

最近「つまづきやすくなった」、「メタボが気になる」そんな皆様、「町ぐるみ健康づくり活動」に気軽に参加しませんか？リズム体操をはじめ、健康づくりに役立つプログラムを毎月行っています。

【会場】：立場地区センター、白百合パークハイツ地域交流室、踊場ケアプラザ他

【日時】：第 1・第 3 土曜日 9:20～10:50（受付 9:00）

初回 4 月 12 日（第 2 土曜日）

【持ち物】：上履き、タオル、飲み物、動きやすい服装

参加費：年間 800 円（初回参加時に徴収させていただきます）

活動期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

主催：中田地区保健活動推進員

中田かわら版では、地域のイベントを掲載することが出来ます。町内会やサークル、お祭りやボランティア活動など、かわら版に掲載してみませんか。

お気軽にお問い合わせください。

■ 和の会 事務局長 佐々木館長 ご苦労様でした



「和の会」の事務局長として中田、葛野、立場、下和泉 4 コミュニティハウスの館長を 10 年務めた佐々木弘美さんが、この 3 月をもって退任する。穏健で人にやさしく、企画・事務能力バツグンの佐々木さんは誰からも愛され、信頼された存在だった。文化祭も年々充実し、親しめる「まつり」に成長させた。スタッフ会議も明るく活気にあふれていた。いろいろ教えられることも多かった。佐々木

さんの一番の思い出は「文化祭に汲沢中、葛野小のブラスバンドを誘致、スポーツクラブを校庭で開催し、みんなに喜ばれたことなど」。長い間ご苦労さまでした。併せてご指導にも感謝、ありがとうございます。なお、後任には細野 勇氏（泉区役所）が 4 月 1 日から就任する。

（宮田貞夫）

■ 中田連合自治会 連続無火災で表彰

2 月 23 日、中田連合自治会（望月榮会長）が泉区防災連絡協議会（会長・下村 直区長）から 180 日間の地域連続無火災を達成したとして感謝状が贈られた。望月会長が代表して中田会館で役員会の席で受け取った。連続火災は「市民防災の日」事業推進要綱に基づき世帯数によって半年、1 年と日数が決まる。中田の場合世帯数が 1 万 176 戸と多いので半年間が期限。この大世帯で 180 日というのは大変な記録なのだ。それに基準も大変厳しい。例えば小さいボヤでもダメ。よその町から火の付いた車が突っ込んできて火災が起きた場合でも火事と判定される。

望月会長談「30 の自治会の住民一人ひとりの努力の賜物。それに地元消防団（第 1,2,3 分団）90 人の献身的任務も忘れてはならない。いいことは 1 日でも長く伸ばして、安心して暮らせる町にしていきたい。皆さんに心から感謝の言葉を言いたい。」

（宮田）



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！